

十勝川中流部川づくりワークショップで確認された 九つの論点の内、「草地復元」と「湿地形成」箇所



草地復元施行箇所

- ・音更川合流点上流
- ・音更川合流点下流

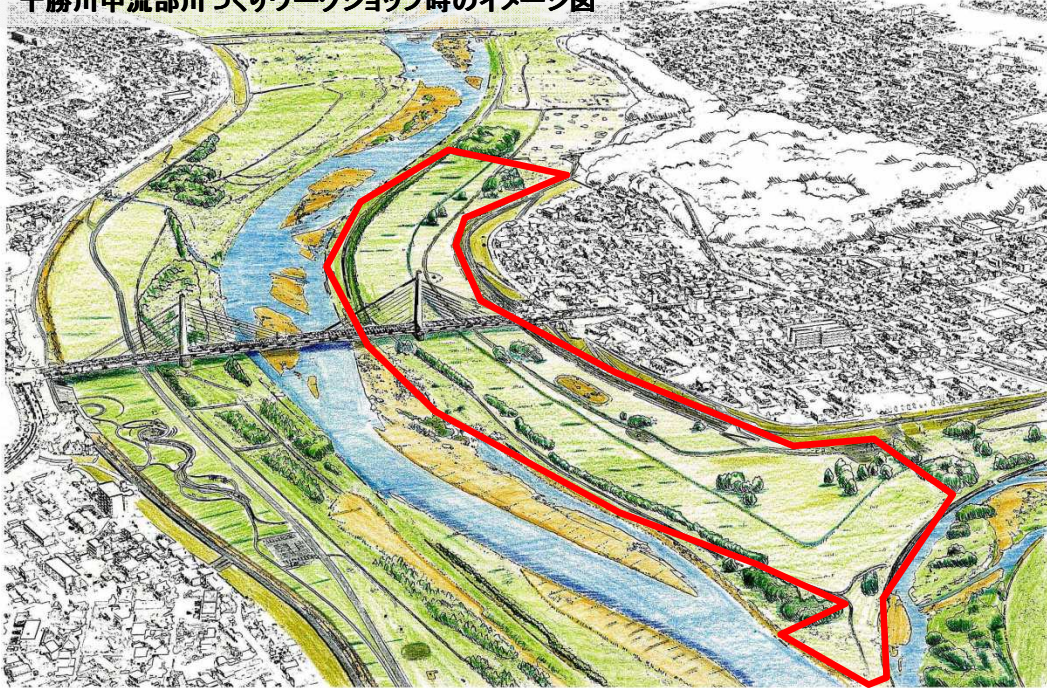


湿地環境形成箇所

- ・相生中島上流右岸

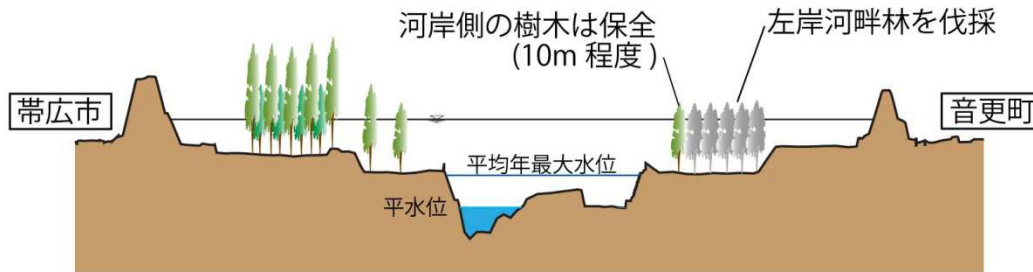
草地復元試行箇所-音更川合流点上流

十勝川中流部川づくりワークショップ時のイメージ図



- ワークショップ合意事項
 - 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
 - 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
 - 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

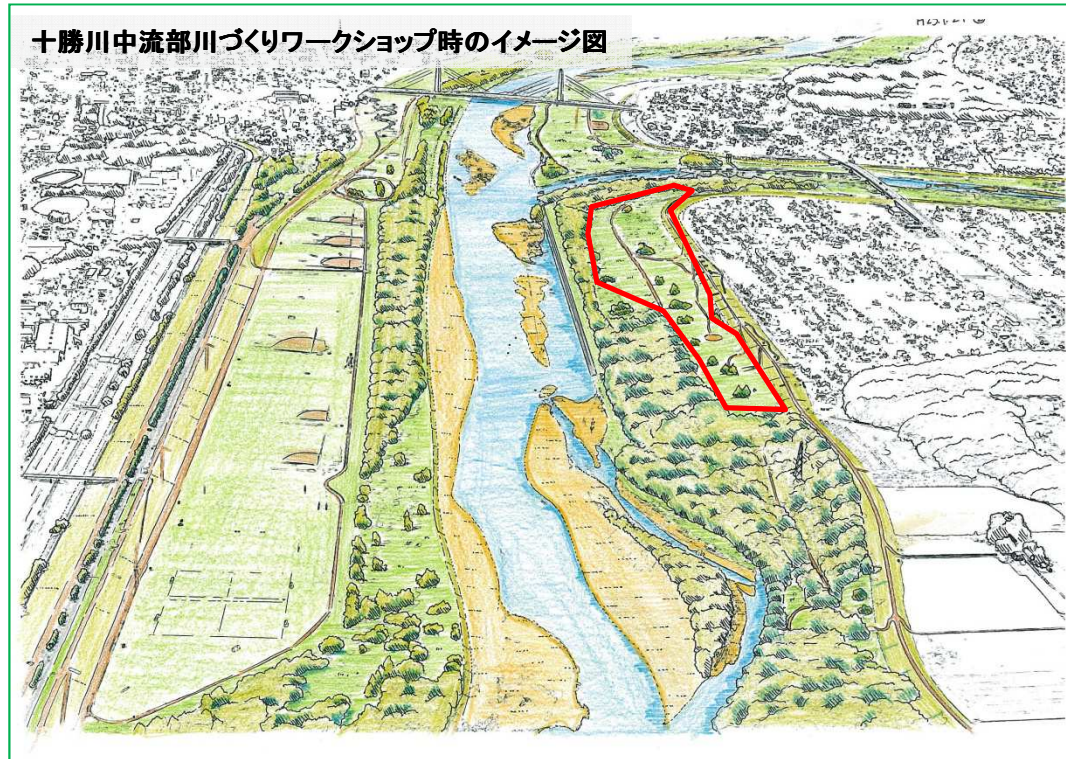
十勝川中流部川づくりワークショップ時の横断面図



空撮(平成22年度撮影)



草地復元試行箇所-音更川合流点下流

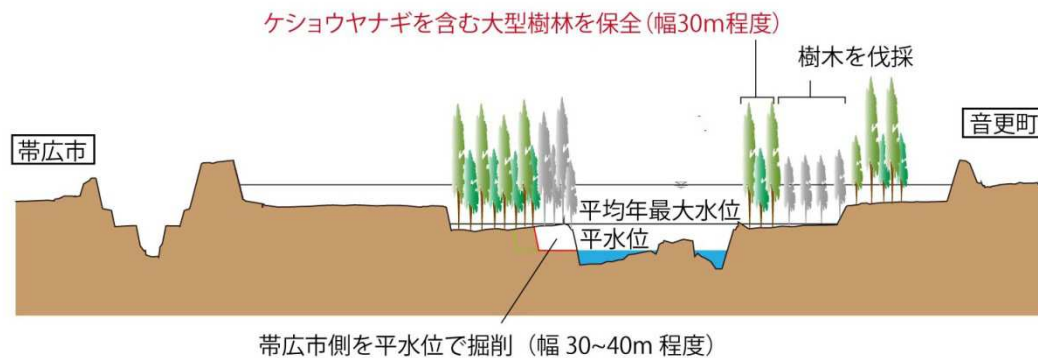


ワークショップ合意事項

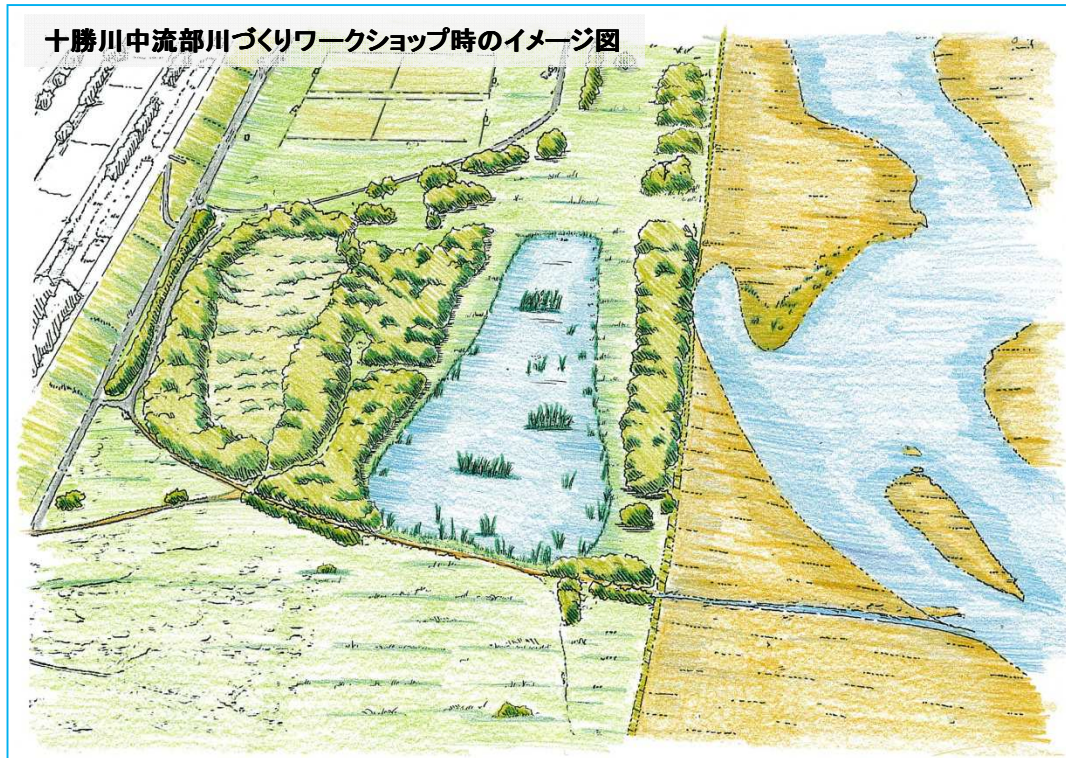
- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケシウヤナギ林を含む大型樹林は保全)

- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

十勝川中流部川づくりワークショップ時の横断面図



湿地環境形成箇所-相生中島上流右岸



- ワークショップ合意事項
- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採
 - 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する

十勝川中流部川づくりワークショップ時の横断面図

